

株式会社ヤマナカと「ESG 経営支援私募債」を成約

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 はんざわ じゅんいち 半沢 淳一、以下「当行」）は、お客さまの ESG（環境・社会・ガバナンス）の取り組みを支援・サポートする ESG 評価型社債商品である「ESG 経営支援私募債（以下、「本商品」）」の取り扱いを行っております。

本商品の ESG 評価は、株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループの一員である三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社（以下、「MURC」）をサービス提供者、グリーンファイナンスの認証実績のある株式会社日本格付研究所（以下、「JCR」）をサポート企業としております。MURC が ESG に関する独自のチェック項目に基づき、お客さまの ESG に対する取り組みを評価、スコアリングを付与するとともに、JCR との連携で客観的な評価を実施し、課題等もお客さまにフィードバックします。本商品は、評価結果が一定以上の企業を対象とした評価型の社債商品となります。

本日、株式会社ヤマナカ（代表取締役社長 中野 義久、以下「同社」）は、本商品を発行いたしました。同社は、2022年2月に創業100周年を迎え、「100年企業としての感謝と誇り、そして次の100年への挑戦と期待」をスローガンとしております。また、グループの使命である「顧客価値創造」の実現のため、グループ各社と連携を図りながら、お客さまに提供する商品、サービス、接客のレベルを高めるとともに、地域社会への貢献や地球環境に配慮した活動を行っております。

使命

『顧客価値を創造する』

お客さまにヤマナカグループの価値を認めていただくこと、ヤマナカで買い物をすることに価値を感じていただくこと、そうした顧客価値を創り出すこと

◆「顧客価値を創造する」取り組みの循環図



【高く評価を受けた ESG に関する取り組み】

- ✓ 環境側面（E）：温室効果ガス削減や食品ロス、容器包装使用量の削減といった環境目標を定めている点。特にその中でも自家消費を目的とした太陽光発電の導入や冷蔵冷凍ケース・空調などの省エネ設備の導入による省エネルギー化や、事業に関連して食品リサイクルの推進および店舗での資源回収などの取り組み。
- ✓ 社会側面（S）：社会貢献への方針の下、女性従業員の勤続年数や女性管理職割合を KPI とするなど女性活躍を推進するにあたって、女性研修会の実施など具体的な取り組みを実施している点や、HACCP の導入によって商品の安全性を高める取り組み。
- ✓ ガバナンス側面（G）：取締役会、コンプライアンスリスク管理委員会、関連会社とのトップミーティングといった組織体による管理の下、リスク管理、行動憲章の策定・周知徹底、および内部通報制度の整備による腐敗防止といった取り組み。

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上